

2026年上半期(1～6月) 搬送要請・応需率

消防機関搬送要請件数・応需率					消防機関不応需理由							
期間	搬送受け入れ 要請件数	搬送件数	不応需	応需率	対応病床なし	別患者対応中	専門科診療不可	三次救急適応外	停電	その他	理由記載なし	合計
1月	134	94	40	70.1%	6	28	0	5	0	1	0	40
2月	102	69	33	67.6%	5	17	1	6	0	4	0	33
3月	85	66	19	77.6%	3	10	2	4	0	0	0	19
4月	82	67	15	81.7%	2	11	0	0	0	2	0	15
5月	102	74	28	72.5%	6	15	3	1	0	3	0	28
6月	119	97	22	81.5%	5	11	1	4	0	1	0	22
計/平均	624	467	157	74.8%	27	92	7	20	0	11	0	157
全不応需件数に占める割合					17.2%	58.6%	4.5%	12.7%	0.0%	7.0%	0.0%	

医療機関搬送要請件数・応需率					医療機関不応需理由							
期間	搬送受け入れ 要請件数	搬送件数	不応需	応需率	対応病床なし	別患者対応中	専門科診療不可	三次救急適応外	停電	その他	理由記載なし	合計
1月	11	9	2	81.8%	0	1	0	1	0	0	0	2
2月	10	6	4	60.0%	1	1	1	1	0	0	0	4
3月	7	7	0	100.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	11	8	3	72.7%	0	1	1	0	0	1	0	3
5月	17	10	7	58.8%	2	2	0	3	0	0	0	7
6月	5	3	2	60.0%	0	2	0	0	0	0	0	2
計/平均	61	43	18	70.5%	3	7	2	5	0	1	0	18
全不応需件数に占める割合					16.7%	38.9%	11.1%	27.8%	0.0%	5.6%	0.0%	

- ・消防機関からの依頼に対する応需率は昨年下半年（7月～12月）より高くなっている。不応需理由の内訳では、対応病床なし、専門科診療不可の割合が低くなり、三次救急適応外が高くなっている。
- ・医療機関からの依頼に対する応需率は昨年下半年よりも高くなっている。不応需理由の内訳では、対応病床なしの割合が低くなり、別患者対応中の割合が高くなっている。

2026年上半期(1～6月) 再来患者数

診療科内訳		受診時間帯			院内急変対応
診療科	患者数	時間帯	患者数	割合	患者数
呼吸器内科	43	0：00～	21	3.9%	55
リウマチ・腎臓内科	51	1：00～	10	1.8%	
糖尿病・内分泌内科	15	2：00～	11	2.0%	
消化器内科	89	3：00～	6	1.1%	
循環器内科	39	4：00～	4	0.7%	
血液内科	17	5：00～	11	2.0%	
腫瘍内科	12	6：00～	15	2.8%	
消化器外科Ⅰ	26	7：00～	17	3.1%	
消化器外科Ⅱ	20	8：00～	20	3.7%	
呼吸器外科	9	9：00～	24	4.4%	
心臓血管外科	3	10：00～	27	5.0%	
整形外科	12	11：00～	29	5.4%	
泌尿器科	55	12：00～	21	3.9%	
麻酔科	1	13：00～	11	2.0%	
形成外科	4	14：00～	25	4.6%	
乳腺外科	7	15：00～	14	2.6%	
脳神経内科	31	16：00～	29	5.4%	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	14	17：00～	48	8.9%	
皮膚科	2	18：00～	42	7.8%	
精神科神経科	2	19：00～	36	6.7%	
脳神経外科	26	20：00～	38	7.0%	
婦人科	14	21：00～	26	4.8%	
小児科	48	22：00～	35	6.5%	
核医学診断科	1	23：00～	21	3.9%	
計	541	計	541	100.0%	

- ・ 再来患者数は昨年下半年（7-12月）と同等であった。受診時間帯では17時～20時台、22時台の割合が高くなっており、昨年下半年と大きな変化はない。
- ・ 院内急変対応患者数は昨年下半年より増加している。